

テーマ

子どもたちの地域参画、地域から学校への参画

公民館等名

津和野町 日原中央公民館

テーマの背景

昨年からは中学生から地域への参画に重点をおいてきた。
今年度はそれに加え、地域から、年々生徒数が減少している中学校への参画を計画した。

実際の取組

取組内容：子ども達の地域参画

<取組の概要>

子ども達が地域行事に参画して地域住民とふれあい、地域を知る機会とする。地域住民にとっても、地域で守り大切にしてきたものや携わってきた人たちの想いを子ども達に伝えることで、大人自身がふるさとの良さを再確認する。



8/14 日原地区盆踊り大会



9/15 左鐙地区民運動会



10/20 池河地区民運動会



11/23 青原公民館まつり

<成果と課題>

昨年度から中学生の地域参画行事が始まり、今年度初めて池河地区での参画が実現した。中学生7人は地区民運動会での競技種目の選考や準備から参画し、当日の運営まで役員として活躍した。

これをきっかけに少しずつ次年度に続けていきたい。しかし、生徒数の減少は進む一方で、現実には生徒数の減少と学校の忙しさは反比例のように感じる。学校はとても忙しそう。新規事業は先生や子ども達の負担になる。現在行っているお互いの事業を少しずつ融合させていければと思う。

実際の取組

取組内容：地域から学校への参画

<取組の概要>

今年度初めて地域が中学校行事に参画した。生徒数減少で今年の全生徒数は50人。体育祭では休憩を挟みながらの進行だったところの休憩時間に、地域住民対象の地域対抗競技を中学校と話し合い計画した。地域を4組に分けて競技2種目、午前中に“スーパー玉入れ”と午後からの“綱引き”で競い合った。中学生は地域の方たちを応援した。

右写真

9月7日<<日原中学校体育祭>>

地域対抗種目

“スーパー玉入れ”と“綱引き”



<成果と課題>

「今まで中学校の体育祭なんて見たことない。」と言われる方や、「久しぶりに中学校に来たけど、なんと生徒が少のうなったのう。」「子どもの姿を見るとうれしいねえ。」と声が聞かれた。保護者はもちろん、競技に参加される地域住民や見学に来た大勢の人々で例年よりも大いに盛り上がった。継続事業になればと願う。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

日原地域の、日原公民館、左鐙公民館、須川公民館、滝元枕瀬公民館、池河公民館、青原公民館が連携し住民に呼びかけ（会議、館報などで）実施することができた。

また、中学校とも連絡を重ね、中学生が公民館運営委員会のメンバーに入ることで学校連携も軌道に乗ってきた。

今後の展望

公民館の連携のための会議または組織が必要か考える。どの公民館も非常勤館長1人、主事1人で年中行事に迫られている中、連携事業を進めていくのは困難である。現在はメールでのやりとりを中心にエリア協議等を利用し、連絡調整をしている。

また、年々生徒数が減少する中、公民館(地域)と学校の連携を継続していく様々なパワーが必要と感じる。

(文責：主事 中野千秋)